

「森と水と命の惑星」国際会議

～地域と世界の心と魂を詠む～



塾長 梅内 拓生

53

(自と他の関係を知
る)

みさき句会 7月旬
会 兼題「端居」雑詠
7月26日第5面

「仮の世と思ひ仮設の
夕端居」
「荒梅雨や錆に太りし
捨錨」

(上部 素間)

3・11の大津波で家
が流されて仮設住宅に
入っている。夕方に狭
い仮設住宅の硝子戸を
あけて、いろいろな思
いにふけっている。津
波で陸に打ち上げられ
て錆ついている錨のよ
うに朽ちてしまふの
か、意を決して立ち上
がるべきか、がれきの
街後には灯りがともっ
ている。

夕空に遠き日重ね端
居かな

「シーソーと小さき手
にも若葉風」

(小田原悦子)

シーソー遊びの孫兒
の小さな手を若葉の風
が吹きなでる。家に帰
り、縁先に座って夕空
を眺めると空の彼方へ
の思いと自分の心の奥
の思いが重なってく
る。小さき孫兒への思
いと自分の人生とがっ
ながった世界が浮かん
でくる。

「焦点を合わすものな
き端居かな」
「女郎蜘蛛たる予感の
縞模様」

(舟野 広)

詠むことは心の奥に
焦点を合わすことであ
り、詠む世界のイメー
ジを持つことである。
焦点が定まらない時に
はいろいろな煩惱がわ
きてて来る。「焦点を
合わすものなき端居か
な」と「女郎蜘蛛たる
予感の縞模様」の世界
はこのイメージを伝え

ている。

第2面の「気仙坂」に
は米国大リーグで活躍
中のイチロー選手の記
事が掲載されている。
「イチローという逸材
が与えてくれるもの」
という見出しで、「実
績なきものは去る」事
が当たり前の米国自由
市場資本主義の厳しい
現実を述べている。

イチロー選手はマリ
ナーズという弱小チー
ムで活躍し、自己の業
績を積み重ね、それが
チーム全体の業績にも
つながっていた。しか
し年齢と肉体の限界を
認識して、その中で野
球の技量を最大に発揮
できる「場」を求めて
ニューヨークヤンキー
スという強力なチーム
に移った。

これは米国プロ野球
世界のなかで、自分と
他との関係、即ち自分
の技量の発揮できる
「場」を米国プロ野球
世界の合理性に叶った
仕方で行ったことであ
る。

「気仙坂」では「肉体
を使う作業はそれがス
ポーツあれ仕事であ
れ、極めて大事な一事
はそれが物理的である
かどうかということだ

あろう。英語ではそれ
がフィジカルという言葉
葉で表され、この言葉
は時に「肉体的」時に
「物理的」と訳される
が、そこに相関関係を
見出すことができるだ
ろう。」と述べている。

イチロー選手には
「フィジカル」を超え
て「スピリチュアル」
なもの、即ち「心」「魂」
に触れるものがあると
思うのは行き過ぎでは
なく、米国の野球フア
ンのイチロー選手に対
するスタンディング・
オベーションにもこれ
が表れていると思う。

(世代と家族と地域
をつなぐ)

渚句会 7月旬会
兼題「昼寝」雑詠 7
月24日第5面

「幼等のくの字大の字
昼寝かな」
「鉄路無き駅舎につづ
く夏蓬」

(齊藤 陽子)

津波で流された線路
に夏の日差しを浴びて
蓬が生い茂っている。

鉄道の復旧はいつにな
るやら？地域の復興
は、手足を投げ出して
無心に昼寝をしている
孫子等に希望を託すは
かなない！

「昼寝して八十路に気
力戻りけり」
「田草取り夕陽を背に
負ひながら」
(古水 タマ子)

八十路の老いも昼寝
をして気が戻ってき
た、日が暮れるまで、
もう少し田の草取りを
続けよう。間もなく孫
子が泊まりに来て手伝
ってくれるだろう。

「昼寝覚めすでに厨に
夕餉の香」
「夏草や仮設住宅むせ
るほど」

(柳本 忠子)

狭い仮設住宅には夏
草が繁茂してむせるほ
どである。昼寝から目
覚めたら厨から夕餉の
匂いがしてきた。訪ね
てきた孫が母親に手伝
っているのだろうか。

第2面には「地域を
挙げて環境保全 鏡岩
公園内を草刈り 住田
町」、第7面には「戦
士たち」が恩返し 地
域住民らを招待 ポラ
ンティアが企画 住田
基地で夏祭り、「被災
地支援に理解 多田町
長が講話 女性リーダ
ー中央講座 住田
町」、「親子でヨガ教室
スマイル行事 三重県
NPOからも義援金」

第3面には「TUBE
(チューブ) 大船渡
の再出発 港でライブ
活気戻る」のイベント
の写真が大きく報道さ
れている。

世代と家族と地域を
つなぐいろいろな活
動、地道な積み上げを
しているもの、フィー
バーとして鼓舞してい
るもの、これらのエネ
ルギーをどのように地
域の持続的な復興の力
につなげるのか、課題
は多い。

さらに、第2面の「気
仙坂」では「民謡」気
仙坂「は神の歌？」と
題して、「隠れキリシ
タンの歌で神を讃える
ものだ」ということに
ふれている。まさに
3・11の大震災は地球
の物理的運動と人間の
文明的活動とがっ
ながって生じたもので
あり、この両面からの
分析が必要である。

5月12日の気仙沼
市、13日の大船渡市で
開催された「森と水と
命の惑星」国際会議で
話し合った「地域と世
界の心と魂を詠む」を
肝に銘じているところ
である。